



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月9日

上場会社名 **レオン自動機株式会社** 上場取引所 東
 コード番号 6272 URL <http://www.rheon.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 啓二
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役兼上席執行役員 (氏名) 山崎 俊明 (TEL) 028(665)1111
 管理本部担当
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	3,313	7.1	△325	—	△336	—	△508	—
22年3月期第1四半期	3,093	△9.6	△334	—	△286	—	△347	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	△18.28	—
22年3月期第1四半期	△12.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	21,863	12,737	58.3	458.05
22年3月期	22,972	13,631	59.3	490.20

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 12,737百万円 22年3月期 13,631百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	2.50	—	2.50	5.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	8,400	7.6	300	21.8	300	△9.2	150	73.1	5.39
通 期	17,300	6.7	1,000	8.7	1,000	△4.7	600	2.8	21.58

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

23年3月期1Q	28,392,000株	22年3月期	28,392,000株
23年3月期1Q	584,011株	22年3月期	583,601株
23年3月期1Q	27,808,296株	22年3月期1Q	27,818,638株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

- (※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示)

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

- (※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

本資料に記載されている業績予想の数値は、当社が現在入手している情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、本業績予想の数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信（添付資料）3ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. その他の情報.....	3
(1) 重要な子会社の異動.....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書.....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	10
(5) セグメント情報.....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	13

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における経済環境は、緩やかな回復が続きましたが、ヨーロッパの地域での金融不安などにより、円高傾向が強くなる厳しい状況にありました。

当社グループが市場とする食品業界は、消費の不振による商品の低価格化や差別化など課題をかかえております。また、食の安全性、健康志向の増大、環境問題など市場のニーズが多様化しております。

このような状況の下で当社グループは、全世界を市場とする企業特性を活かし、市場ニーズを適確にとらえるとともに、機械のより一層の標準化推進と、安全性の向上を図り、レオロジー（流動工学）を基礎とする当社独自の開発技術の機械化により、多様な消費者ニーズに対応できる商品群を国内及び海外の食品業界へ提案してまいりました。

当社グループでは、売上が顧客の設備投資の影響を受けるため、年度の中でも第2四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間に多く計上される傾向にあります。

製パンライン等においては、V₄食パンライン、V₄パン粉ラインや生地をストレスフリーで計量カットするV型ラインの販売が好調で、売上高は増加いたしました。

食品成形機においては、国内では2列火星人の売上が好調で、海外においても売上高は増加いたしました。

これらの結果、第1四半期連結累計期間における売上高は3,313百万円（対前年同四半期220百万円増）、経常損失は336百万円（前年同四半期は、経常損失286百万円）、四半期純損失は508百万円（前年同四半期は、四半期純損失347百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて787百万円減少し、8,407百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が回収により939百万円減少し、計画生産により仕掛品が265百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて321百万円減少し、13,456百万円となりました。これは、減価償却により有形固定資産が179百万円減少、繰延税金資産が98百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、1,108百万円減少し、21,863百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、71百万円減少し、5,623百万円となりました。これは、短期借入金が524百万円減少、未払費用が400百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、143百万円減少し、3,503百万円となりました。これは、長期借入金が118百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて、214百万円減少し、9,126百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて、894百万円減少し、12,737百万円となりました。これは、利益剰余金が575百万円減少、為替換算調整勘定が294百万円減少したことなどによります。

以上の結果、当第1四半期連結期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べて1.0%減少の58.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の売上高は概ね当初予想通りに推移しております。例年、第2四半期、第4四半期の季節変動でピークを迎える売上拡大をもって達成予定でありますので、平成22年5月17日発表の連結業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業損失、経常損失はそれぞれ110千円増加し、税金等調整前四半期純損失は、17,108千円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は、21,593千円であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,466,454	1,885,804
受取手形及び売掛金	2,087,993	3,027,531
商品及び製品	2,908,406	2,802,619
仕掛品	859,469	594,383
原材料及び貯蔵品	432,083	428,302
繰延税金資産	354,238	288,830
その他	321,960	192,898
貸倒引当金	△23,061	△25,657
流動資産合計	8,407,545	9,194,713
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,659,257	11,822,152
減価償却累計額	△6,812,867	△6,811,663
建物及び構築物(純額)	4,846,390	5,010,488
機械装置及び運搬具	5,415,353	6,157,386
減価償却累計額	△4,013,969	△4,648,138
機械装置及び運搬具(純額)	1,401,384	1,509,247
工具、器具及び備品	1,691,123	1,759,859
減価償却累計額	△1,539,394	△1,586,971
工具、器具及び備品(純額)	151,728	172,888
土地	5,412,139	5,445,756
リース資産	120,172	95,001
減価償却累計額	△32,237	△26,824
リース資産(純額)	87,935	68,177
建設仮勘定	173,711	46,173
有形固定資産合計	12,073,288	12,252,731
無形固定資産		
のれん	38,356	46,681
その他	86,752	92,541
無形固定資産合計	125,108	139,223
投資その他の資産		
投資有価証券	572,043	600,255
長期貸付金	188,476	174,030
繰延税金資産	568,367	666,667
その他	120,836	138,419
貸倒引当金	△191,877	△193,515
投資その他の資産合計	1,257,846	1,385,857
固定資産合計	13,456,243	13,777,812
資産合計	21,863,788	22,972,525

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	748,677	635,842
短期借入金	2,708,168	3,232,628
リース債務	27,221	21,648
未払費用	728,544	328,026
未払法人税等	288,370	159,470
前受金	471,210	384,186
賞与引当金	235,141	422,657
役員賞与引当金	2,850	—
その他	413,114	509,890
流動負債合計	5,623,298	5,694,352
固定負債		
長期借入金	1,951,310	2,069,700
リース債務	65,274	49,621
繰延税金負債	81,749	85,699
再評価に係る繰延税金負債	830,199	831,445
退職給付引当金	410,142	469,587
資産除去債務	21,616	—
その他	142,712	140,550
固定負債合計	3,503,004	3,646,604
負債合計	9,126,303	9,340,956
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,351,750	7,351,750
資本剰余金	7,060,750	7,060,750
利益剰余金	5,337,111	5,912,820
自己株式	△165,594	△165,493
株主資本合計	19,584,017	20,159,826
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△52,523	△30,861
土地再評価差額金	△5,226,434	△5,224,224
為替換算調整勘定	△1,567,574	△1,273,172
評価・換算差額等合計	△6,846,532	△6,528,258
純資産合計	12,737,485	13,631,568
負債純資産合計	21,863,788	22,972,525

(2) 四半期連結損益計算書
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	3,093,147	3,313,206
売上原価	1,689,335	1,811,029
売上総利益	1,403,812	1,502,177
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	76,297	74,697
荷造運搬費	97,676	93,547
貸倒引当金繰入額	0	—
販売手数料	73,464	97,746
給料及び手当	567,287	610,944
賞与引当金繰入額	125,626	112,669
役員賞与引当金繰入額	700	2,850
退職給付費用	84,739	81,905
旅費及び交通費	87,314	91,295
減価償却費	63,714	66,805
研究開発費	111,350	146,462
その他	449,761	448,774
販売費及び一般管理費合計	1,737,934	1,827,699
営業損失(△)	△334,122	△325,522
営業外収益		
受取利息	2,531	1,607
受取配当金	6,381	6,580
物品売却益	8,560	11,691
為替差益	18,000	—
投資有価証券割当益	—	12,600
その他	32,984	24,500
営業外収益合計	68,458	56,979
営業外費用		
支払利息	20,724	18,734
貸倒引当金繰入額	—	1,300
為替差損	—	45,146
その他	102	2,760
営業外費用合計	20,826	67,942
経常損失(△)	△286,490	△336,484
特別利益		
固定資産売却益	1,504	1,033
貸倒引当金戻入額	4,361	1,880
特別利益合計	5,866	2,913

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
特別損失		
固定資産売却損	—	1,285
固定資産除却損	—	2,554
減損損失	2,124	4,403
投資有価証券評価損	—	51,430
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	16,998
その他	45	100
特別損失合計	2,170	76,771
税金等調整前四半期純損失(△)	△282,794	△410,342
法人税、住民税及び事業税	57,914	68,023
過年度法人税等	927	△8
法人税等調整額	5,655	30,039
法人税等合計	64,497	98,054
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△508,396
四半期純損失(△)	△347,291	△508,396

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△282,794	△410,342
減価償却費	158,381	198,696
減損損失	2,124	4,403
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	16,998
のれん償却額	8,325	8,325
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,208	641
賞与引当金の増減額(△は減少)	△222,377	△185,318
退職給付引当金の増減額(△は減少)	52,550	49,741
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	700	2,850
受取利息及び受取配当金	△8,913	△8,187
支払利息	20,724	18,734
投資有価証券評価損益(△は益)	—	51,430
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,504	251
有形固定資産除却損	45	2,554
売上債権の増減額(△は増加)	1,292,570	889,025
たな卸資産の増減額(△は増加)	△331,244	△538,179
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△52,010	55,695
その他の固定資産の増減額(△は増加)	△1,323	△1,358
未払費用の増減額(△は減少)	406,613	412,691
仕入債務の増減額(△は減少)	173,563	182,809
未収消費税等の増減額(△は増加)	56,281	2,540
未払消費税等の増減額(△は減少)	585	△30,697
その他の流動負債の増減額(△は減少)	38,620	90,285
その他の固定負債の増減額(△は減少)	—	2,174
その他	△21,023	△24,481
小計	1,288,687	791,283
利息及び配当金の受取額	8,093	7,768
利息の支払額	△20,756	△17,813
退職金制度移行に伴う支払額	△109,044	△109,186
法人税等の支払額	△47,205	△50,015
法人税等の還付額	97,013	346
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,216,788	622,382
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△172,344	△226,251
有形固定資産の売却による収入	3,324	2,098
無形固定資産の取得による支出	△4,766	△6,242
投資有価証券の取得による支出	△906	△32,280
貸付けによる支出	△40,598	△24,020
貸付金の回収による収入	579	9,574
その他	△1,827	△1,259
投資活動によるキャッシュ・フロー	△216,539	△278,381

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,552,228	△361,181
長期借入れによる収入	500,000	—
長期借入金の返済による支出	△131,080	△221,352
リース債務の返済による支出	△1,787	△4,759
自己株式の取得による支出	△676	△100
配当金の支払額	△62,398	△62,973
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,248,169	△650,367
現金及び現金同等物に係る換算差額	43,398	△112,983
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△204,521	△419,349
現金及び現金同等物の期首残高	2,019,347	1,885,804
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,814,825	1,466,454

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	食品加工機械 製造販売事業 (千円)	食品製造 販売事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	2,202,781	890,366	3,093,147	—	3,093,147
(2)セグメント間の内部売上高又は 振替高	5,212	69	5,281	(5,281)	—
計	2,207,993	890,436	3,098,429	(5,281)	3,093,147
営業利益又は営業損失(△)	△143,710	88,546	△55,164	(278,957)	△334,122

(注) 1 事業区分の方法

当社および連結子会社の取扱い商品および製品をその種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性に基づき判別し、食品加工機械製造販売事業と食品製造販売事業にセグメンテーションしております。

2 各事業区分の主要商品および製品

事業区分	売上区分	主要商品および製品
食品加工機械 製造販売事業	食品成形機	万能自動包あん機（N209型・卓上包あん機）、火星人（CN010型・CN500型・CN600型・KN500型・KN508型・KN550型・WN055型・WN056型・WN066型）、ロボットEP
	製パンライン等	ストレスフリーV ₄ システム、ストレスフリーVMシステム、V ₄ フリーデバイダー、ツインデバイダー、フリーデバイダーVs、ADライン、リングエクストルーダーライン、マルチコエクストルーダーライン、MMライン、HMライン、EZテーブルライン、コンパクトEZテーブル、マルチヘッドインクラスターライン、USライン、ミニスチーマー、コンパクトパンナー、クワトロフオーマー、マルチサンドライン、ラックBOXスチーマー
	修理その他	部品、オプション、技術指導料、修理工賃
	仕入商品	オープン、ミキサー、包装機等の他社よりの仕入商品
食品製造販売 事業	食品	クロワッサン、デニッシュペストリー、クッキー類 天然酵母パン種

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	ヨーロッパ (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	1,250,477	1,071,369	597,073	174,227	3,093,147	—	3,093,147
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	720,106	—	52	—	720,159	(720,159)	—
計	1,970,583	1,071,369	597,125	174,227	3,813,306	(720,159)	3,093,147
営業利益又は営業損失(△)	△161,336	87,058	△4,506	8,284	△70,499	(263,622)	△334,122

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………アメリカ合衆国

(2) ヨーロッパ……………ドイツ

(3) アジア……………台湾

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	北米・南米	ヨーロッパ	アジア・オセアニア	計
I 海外売上高(千円)	1,071,369	597,073	174,227	1,842,670
II 連結売上高(千円)	—	—	—	3,093,147
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	34.6	19.3	5.6	59.6

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米・南米……………アメリカ合衆国、カナダ、ブラジル

(2) ヨーロッパ……………ドイツ、スペイン、イタリア、イギリス、ロシア

(3) アジア・オセアニア……………台湾、中国、韓国、オーストラリア

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主に食品加工機械を開発・製造・販売する食品加工機械製造販売事業とパン・菓子、天然酵母パン種の製造・販売を行う食品製造販売事業を行っております。

食品加工機械製造販売事業では、当社（日本）、RHEON U.S.A.（北米・南米）、RHEON AUTOMATIC MACHINERY GmbH（ヨーロッパ）、亞太雷恩自動機股份有限公司（アジア）が、各地域をそれぞれ担当しており、販売体制を基礎とした地域別の管理を行っております。

食品製造販売事業では、ORANGE BAKERY, INC.（北米・南米）（パン・菓子の製造・販売）、(有)ホシノ天然酵母パン種（日本）（天然酵母パン種の製造・販売）をそれぞれ行っており、事業別及び地域別の管理を行っております。

したがって当社は、食品加工機械製造販売事業では、「日本」「北米・南米」「ヨーロッパ」「アジア」、食品製造販売事業では、「北米・南米」「日本」を報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

(単位：千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	1,276,967	184,091	686,521	230,669	2,378,250
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	549,258	9,775	178	—	559,212
計	1,826,226	193,867	686,699	230,669	2,937,463
セグメント利益又は損失(△)	△352,634	△1,472	22,764	5,292	△326,050

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	820,043	114,912	934,956	3,313,206
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	49	49	559,262
計	820,043	114,962	935,006	3,872,469
セグメント利益又は損失(△)	118,169	4,924	123,094	△202,956

3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

損 失 (△)	金 額
報告セグメント計	△202,956
セグメント間取引消去	195,405
本社一般管理費（注）	△317,971
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△325,522

（注）本社一般管理費は、当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。